

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|------------|------------|----|---------|----|
| 106-238 | 高等学校 | 国語 | 現代の国語 | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | | ※教科書名 | |
| 212 桐原 | 現国 212-901 | | 新 現代の国語 | |

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「現代の国語」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「現代の国語」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

①段階的に国語力を養成できる単元構成

自分の思いや考えを「言葉に表す」ことから、未来への「展望を描く」ことに向けて、国語力を確実に身に付けることができるよう、段階的な目標を設定した10単元の構成とした。また、単元内の教材には豊かな国語力の養成に資するよう、内容・形式において多様な文章や図版を配置した。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとめ・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題からなる「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。また、「学習の手引き」の末尾にはさまざまな角度からの「活動」の問い合わせを設け、主体的な言語活動へとつなげた。

3. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所(ページ) |
|--|---|-----------|
| 1 言葉に表す 「ふしげと人生」 「学級日誌」 「読書は必要か？」 | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した。(第1号) 特に、「読書は必要か？」では、人生における読書の意味について話し合う言語活動を設定した。(第1号) | 14~28 |
| 2 筋道をつかむ 「ほどほどのデザイン」 「言葉の力」 「演劇と『人間の速度』」 | <ul style="list-style-type: none"> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を育えるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した。(第2号) 特に、「ほどほどのデザイン」では、日常生活の中で使用されている道具を通して、日本人の感性や文化について考察する言語活動を設定した。(第5号) | 30~53 |

| | | |
|--|--|---------|
| <p>評論解析A</p> <p>「マヨネーズの穴から」 「環境世界」 「紫外線」 「立憲主義の成立」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ4教材を配した。(第1号) | 54～61 |
| <p>3 視点を変える</p> <p>「星の目で見る」 「世界の周縁に身を置く人」 「カルチャーショック」</p> | <ul style="list-style-type: none"> マクロの視点、周辺部への視点、対照的な視点など、さまざまな視点を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した。(第1号) | 64～83 |
| <p>4 他者と向き合う</p> <p>「わからうとする姿勢」 「アリューシャン、老兵の夢と闇」 「文化祭の企画」 「神様」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 正義と責任をもって他者に向かい、主体的に社会の形成に参画できるよう、多彩な内容を持つ4教材を配した。(第3号) 特に「アリューシャン、老兵の夢と闇」では、戦争と平和について考える探究活動を設定した。(第5号) | 88～119 |
| <p>5 問いを立てる</p> <p>「サイボーグとクローン人間」 「問い合わせ方とオリジナリティ」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 物事を観察して矛盾を発見し、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ2教材を配した。(第1号) 特に、「サイボーグとクローン人間」では、科学技術の発達と人間との関係について考察する言語活動を設定した。(第4号) | 124～140 |
| <p>6 論理を組み立てる</p> <p>「経済の論理／環境の倫理」 「情動の必要性」 「全国高校生『好きな漢字』総選挙」 「羅生門」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 未来世代を含めての責任、自他の敬愛と協力を重んじるとともに、自らの考えを持ち、主体的に社会の形成に参画できるよう、多彩な内容を持つ4教材を配した。(第3号) 特に、「経済の論理／環境の倫理」では、未来世代を意識した環境の保全について考察する言語活動を設定した。(第4号) | 142～173 |
| <p>評論解析B</p> <p>「グローバル化と『文脈』」 「ゆらぎ」 「壊す生命」 「アラビア語を学ぶ」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう、「ゆらぎ」「壊す生命」の2教材を配した。(第4号) 文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう、「グローバル化と『文脈』」「アラビア語を学ぶ」の2教材を配した(第5号)。 | 174～181 |
| <p>7 つながりを見いだす</p> <p>「遅れてきた『私』」 「求人票」 「レオーノフの帽子屋」</p> | <ul style="list-style-type: none"> 自主および自律の精神を養い、人生や職業について考えを深められるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した(第2号)。 特に「遅れてきた『私』」では、社会と「私」とのつながりについて考察する言語活動を設定した。(第3号) | 186～210 |

| | | |
|---|--|---------|
| 8 常識を問い合わせる 「言葉は『ものの名前』ではない」 「納税は義務か」 「新聞記事とバリアフリー」 「A I の判断」 | <ul style="list-style-type: none"> 当たり前とそれがちなことを批判的に問い合わせし、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与できる態度を養えるよう、多彩な内容を持つ4教材を配した。 (第3号) 特に「新聞記事とバリアフリー」では、意識の変化に即して実生活を見直す言語活動を設定した。(第2号) | 212～236 |
| 9 情報を関連づける 「食の履歴書」 「出入国の手続きと管理」 「『人新世』と未来倫理」 | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した。(第1号) 特に「『人新世』と未来倫理」では、資料をもとに環境問題を多角的に捉える言語活動を設定した。 (第4号) | 238～259 |
| 評論解析 C 「我関わる、ゆえに我あり」 「『私』が『主体』であるために」 「生物多様性と科学」 「ヒトの『進化』と普遍性」 | <ul style="list-style-type: none"> 「主体」としての「私」について考えることを通して、自主および自立の精神を養えるよう、「我関わる、ゆえに我あり」「『私』が『主体』であるために」の2教材を配した。(第2号) 生物の多様性と普遍性を考えることを通して、環境をの保全に寄与する態度を養えるよう、「生物多様性と科学」「ヒトの『進化』と普遍性」の2教材を配した。 (第4号) | 260～269 |
| 10 展望を描く 「目の見えない人は世界をどう見て いるのか」 「地域紹介パンフレット」 「夢十夜（第一夜・第六夜）」 | <ul style="list-style-type: none"> 想像する力を發揮して、身近な物事や地域社会、国際社会の望ましい姿を思い描き、社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう、多彩な内容を持つ3教材を配した。(第5号) | 272～291 |

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 認識や思考を支えるものとしての言葉や、言葉の持つ豊かな可能性について、興味・関心を広げられるよう、導入文として「わからないぐらいがちょうどいい」を設けた。
- さまざまな情報の扱い方を身につけるために、複数のテクストで構成した教材（「読書は必要か？」「新聞記事とバリアフリー」「食の履歴書」「出入国の手続きと管理」「『人新世』と未来倫理」）を設定した。また、見解の共通点や相違点を比べることを目的とした単元「評論解析 C」を設けた。
- 自分の考えを表現するための手法を解説した「表現の手法1～5」を設けた。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| ※受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|------------|------------|----|---------|----|
| 106-238 | 高等学校 | 国語 | 現代の国語 | |
| ※発行者の番号・略称 | ※教科書の記号・番号 | | ※教科書名 | |
| 212 桐原 | 現国 212-901 | | 新 現代の国語 | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、主体的な表現力養成を補佐するための資料として、教材間に「表現の手法1～5」を、巻頭巻末に「付録」を設けた。

2. 対照表

| 単元 | 教材名 | 図書の構成・内容 | 該当箇所 (ページ) | 学習指導要領の内容 | | | | 配当時数 | | |
|-------------|-----------------|----------|-------------------|-----------|-------------------|-----------|-----------|------|-----|---|
| | | | | 知識及び技能 | A 話すこと 聞くこと | B 書くこと | C 読むこと | A | B | C |
| 1 言葉に表す | 評論を読み解く 解析マスター | 前見返し | 前見返し | (1)オカ(2)ア | | | | — | — | — |
| | 文章作法 | 付録 | 付録 | (1)カ(2)オ | | | | — | — | — |
| | わからないぐらいがちょうどいい | 8～11 | (1)ア | (1)イエ | | | | 1 | | |
| 2 筋道をつかむ | ふしぎと人生 | 14～19 | (1)アイウ | (1)アウ | | | | 2 | | |
| | 学級日誌（実用的な文章1） | 20～22 | (1)イウエ | | (1)アエ | | | | 2 | |
| | 読書は必要か？ | 23～28 | (1)アイ (2)ア(3)ア | (1)イエ | | | | 1 | | |
| 評論解析A | ほどほどのデザイン | 30～37 | (1)イウエ | | | (1)アイ | | | 1 | |
| | 言葉の力 | 38～46 | (1)アウエ | | | (1)アイ | | | 1 | |
| | 演劇と「人間の速度」 | 47～53 | (1)イカ | (1)ウエ | | | | 2 | | |
| | マヨネーズの穴から | 54～55 | (2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 | |
| | 環境世界 | 56～57 | (2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 | |
| | 紫外線 | 58～59 | (2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 | |
| | 立憲主義の成立 | 60～61 | (2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 | |
| | 表現の手法1 スピーチ | 62 | (1)イエオ | | | | | — | — | — |

| 図書の構成・内容 | | 該当箇所 (ページ) | 学習指導要領の内容 | | | | 配当時数 | | |
|----------------|--------------------------|---------------|-----------------|-------------|--------|--------|------|---|-----|
| 単元 | 教材名 | | 知識及び技能 | A 話すこと 聞くこと | B 書くこと | C 読むこと | A | B | C |
| 3 視点を変える | 星の目で見る | 64~70 | (1)イウエ | | | (1)アイ | | | 1 |
| | 世界の周縁に身を置く人 | 71~75 | (1)イウエオ | | (1)アウ | | | 3 | |
| | カルチャーショック | 76~83 | (1)イウエ (2)アエ | | (1)アイ | | | 3 | |
| | 表現の手法2 意見文を書く | 84~86 | (1)オカ (2)アウエ | | | | — | — | — |
| 4 他者と向き合う | わかろうとする姿勢 | 88~95 | (1)イウエ | | | (1)アイ | | | 1 |
| | アリューシャン、老兵の夢と闇 | 96~105 | (1)イウエ | | (1)アイ | | | 3 | |
| | 文化祭の企画（実用的な文章2） | 106~109 | (1)イ・ウ・エ | | (1)イ・ウ | | | 2 | |
| | 神様 | 110~119 | (1)イウエ | | (1)アイ | | | 3 | |
| | 表現の手法3 探究活動—テーマの設定と情報収集 | 120~122 | (2)アイウエオ | | | | — | — | — |
| 5 問い合わせる | サイボーグとクローン人間 | 124~134 | (1)イウエ (2)ア | | | (1)アイ | | | 2 |
| | 〔参考〕人間拡張の現在 | | — | — | — | — | | | |
| | 問い合わせの立て方とオリジナリティ | 135~140 | (1)ウエ(2)エ | (1)エ | | | 1 | | |
| 6 論理を組み立てる | 経済の論理／環境の倫理 | 142~148 | (1)イウエ (2)エ | | | (1)アイ | | | 1 |
| | 情報の扱い方（論拠／推論） | 149 | (2)アイウ | | | | — | — | — |
| | 情動の必要性 | 150~156 | (1)イウエオ | (1)エオ | | | 2 | | |
| | 全国高校生「好きな漢字」総選挙（実用的な文章3） | 157~159 | (1)イウエ | | (1)アウ | | | 2 | |
| | 羅生門 | 160~173 | (1)イウエ (2)アウ | | (1)イエ | | | 3 | |
| 評論解析B | グローバル化と「文脈」 | 174~175 | (1)オ(2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 |
| | ゆらぎ | 176~177 | (2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 |
| | 壊す生命 | 178~179 | (1)カ(2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 |
| | アラビア語を学ぶ | 180~181 | (1)カ(2)ア | | | (1)アイ | | | 0.5 |
| | 表現の手法4 さまざまな討論 | 182~184 | (2)アイウエ | | | | — | — | — |
| 7 つながりを見いだす | 遅れてきた「私」 | 186~193 | (1)イウエ | | | (1)アイ | | | 1 |
| | 〔比較で深める〕対談「社会」の誕生 | 194~197 | (1)イウエ | | | (1)アイ | | | 1 |
| | 求人票（実用的な文章4） | 198~201 | (1)イエ | (1)アイ | | | 1 | | |
| | レオーノフの帽子屋 | 202~210 | (1)イウエオカ | (1)エオ | | | | 2 | |
| | 〔参考〕I was born | | — | — | — | — | | | |

| 図書の構成・内容 | | 該当箇所 (ページ) | 学習指導要領の内容 | | | | 配当時数 | | | |
|-------------|-----------------------|---------------|------------------|-------------|--------|--------|------|----|----|----|
| 単元 | 教材名 | | 知識及び技能 | A 話すこと 聞くこと | B 書くこと | C 読むこと | A | B | C | |
| 8 常識を問い合わせる | 言葉は「ものの名前」ではない | 212~217 | (1)イウエオ | | | (1)アイ | | | 1 | |
| | 納税は義務か | 218~223 | (1)イウエ (2)ウ | (1)イエ | | | 2 | | | |
| | 新聞記事とバリアフリー（実用的な文章5） | 224~229 | (1)イウエ | (1)アエ | | | 2 | | | |
| | A I の判断 | 230~236 | (1)イウエ | (1)ウォ | | | 2 | | | |
| | [参考] 人工知能はなぜ椅子に座れないのか | | — | — | — | — | | | | |
| 9 情報を関連づける | 食の履歴書 | 238~246 | (1)イウエ (2)エオ | | | (1)アイ | | | 1 | |
| | 出入国の手続きと管理（実用的な文章6） | 247~249 | (1)ウエ | | | (1)アイ | | | 1 | |
| | 「人新世」と未来倫理 | 250~259 | (1)イウエ (2)アエオ | | (1)イエ | | | 4 | | |
| 評論解説C | 我関わる、ゆえに我あり | 260~263 | (1)オカ (2)アウ | | | (1)アイ | | | 2 | |
| | 「私」が「主体」であるために | | | | | | | | | |
| | 生物多様性と科学 | 264~269 | (1)オカ (2)アウ | | | (1)アイ | | | 2 | |
| | ヒトの「進化」と普遍性 | | | | | | | | | |
| | 表現の手法5 プレゼンテーション | 270 | (1)イエオカ | | | | — | — | — | |
| 10 展望を描く | 目の見えない人は世界をどう見ているのか | 272~279 | (1)イウエ (2)エ | (1)ウエ | | | 2 | | | |
| | 地域紹介パンフレット（実用的な文章7） | 280~281 | (1)イウエ | | (1)イウ | | | 2 | | |
| | 夢十夜（第一夜・第六夜） | 282~291 | (1)イウエ | | (1)アイ | | | 3 | | |
| | | | | | | | | 20 | 30 | 20 |
| | | | | | | | | 総計 | 70 | |